

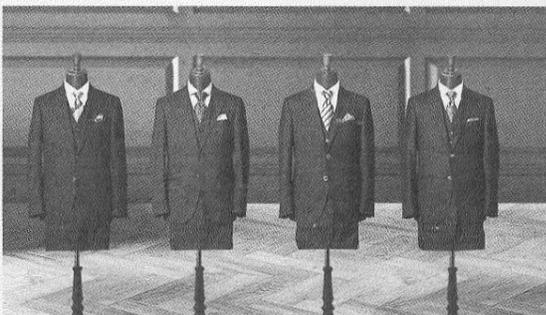
# 未来の礎となる事業基盤強化へ

## 生販一体システムの受け皿を拡充

紳士服オーダーのセンチュリーグループは、コロナ禍の厳しい環境の中で、現在のウイズコロナ・アフターコロナのマーケットに対応する準備は終わった。千葉センター移転を機に、下期から国内製造業の未来の礎となる事業基盤強化をスタートする。コロナ発生前のデジタル投資による弘前のスマートファクトリー化、AIを活用して開発した新・受注システムなどが、ポディブローのごとく効果を発揮することになる。

### センチュリーグループ

センチュリーグループは、千葉県印西市にて物流システム 建設した現・千葉センターの効率化を目的の移転を、今8月に実



スリーピースコレクション

施した(今9月1日から営業開始)。旧・千葉センターは、グループのネットワーク化に伴う迅速物流を実現するための機能に特化したシステムを確立し、同年に竣工。30年前に竣工した、その間、グループの生販一体システムは時代変化に合わせて進化し続けており、必要な機能だけを残し、年々、将来を見据えて1990年に竣工した弘前工場を軸にした事業運営体制に変わって



新・千葉センター開所清敞

千葉センターの移転(移転先は千葉県印西市中央南1丁目8番 千葉ニュータウン中央駅前七

### コロナ禍でも短納期需要に対応

取締役社長 秋元 悦男



新・千葉ニュータウンは、千葉ニュータウン中央駅前の商業施設内にあるワンフロア1815平方メートルのスペースに移転した。コンバクトながら、移動を進めるなか、主力の弘前工場をはじめ、迅速対応の物流体制も維持できる。コロナ対策として取組んできたことであるが、稼働人員が半分に近づくと、多能工の増強や一人ひとりの熟練度アップが欠かせない。クレームが発生しないようシミュレーションを重ねていきたい。

### 千葉を移転し、成長戦略を加速する

千葉センターは、海外から輸入された製品のプレス・検査、着分生地の店頭への出荷などの機能特化を進め、一方、弘前工場はスマートファクトリー化、グループ全体の労働管理などにおけるペーパーレス化のためのデジタル投資を実施。また、2015年に子会社化した青森・黒石工場のリニューアルも実施し、グループの未来を決定づける新たな生販一体システムに進化させた。



ネットワークをつなぎ直し、クラウド化するなど、非常に大掛かりな作業を行い、受け皿を拡充している。また、手洗いやうがい、マスク着用、除菌などを徹底して実践し、従業員周知に向け、ガイドライも作製。今年度はワクチン接種を推奨し、クラスター対策を徹底的に実施している。接種率は高く、弘前工場では全従業員の78.5%、黒石工場では73%が、8月に終わっている。



さらに25坪ほどの工場直販オーダーショップ「オーダーズーツファクトリー」(9月末オープン予定)も併設。自前ながらも店装、品揃えにこだわり、しっかりと構えて運営するとするなか、センチュリーグループは、命を守り企業が加速する可能性もある。一方、企業にとって「人」が一番大切とするセンチュリーグループは、命を守り企業が加速する可能性もある。従業者が安心して生活できるように、これからの30年を引っ張る礎を作る(同)準備に入った。

### オーダーの差別化・直販事業に注力

取締役社長 三井 清



紳士オーダーズーツは参入するメーカーが増え、マーケットではバイの奪い合いが激化。低価格化も進み、流れに飲み込まれてしまいうるが、ある。リテーラーは、ビジネススーツの需要減少傾向に対する政策

として、フロア構成を紳士婦人からライフスタイル提案型に変える動きもある。コロナ禍で集客力が落ちたが、アフターコロナを思い描けば、差別化されたモノ・コトの提供は必須となる。

商品知識がなくても販売できる受注システム、販売員に代わるAIということで開発に取り組んできたものである。アップしたレコメンドで、当社から販売スタッフを派遣している売場の差別化を図りたいと考えている。さらには既存の売り場では、リモートワークで

「多額なデジタル投資は人手不足を補い、人や高い能力を必要とするところに過重をかけられるようにして、ワーカーの負担を減らすことが目的。そしてデジタル化により、スピードと品質のレベルアップが成功して

「1998年に紳士服業界では画期的と称賛された1週間納期のQRシステムを確立し、同年に店頭直接の窓口を弘前工場に設置。一昨年には弘前工場のスマートファクトリー化を終えている。7年前から千葉ニュータウンの機能に徐々に弘前工場へシフトさせ、千葉には必要機能を残し、年々、将来を見据えて1990年に竣工した弘前工場を軸にした事業運営体制に変わって

「生販一体システムを筋肉質の体質に改善し、これからの30年を引っ張る礎を作る(同)準備に入った。